

株主通信

第17期 中間報告

2008年4月1日 ▶ 2008年9月30日



GREEN HOSPITAL SUPPLY

グリーンホスピタルサプライ株式会社

証券コード:3360



代表取締役社長

古川 國久

「進化」と「成長」はとまらない より筋肉質な成長基盤の 構築を目指して

当社グループは、「S.H.I.P.」の経営理念のもと、医療・保健・福祉の3分野を事業ドメインと定め、業界のイノベーターとして急速に成長してまいりました。こうした中で、前期(2007年度)、これまでの急速な成長やグループ拡大等によるひずみが生じたことで多大な特別損失を計上し、創業以来初の大幅な赤字決算という結果に至りました。

このような結果のもと、当社グループでは激変する医療業界の中で、より一層の成長を実現するため、当期(2008年度)をスタートとする中期経営計画を策定し、その確実な遂行に努めております。当第2四半期(4-9月)においては、中期経営計画の基本方針に基づき、様々な施策の具体化に取り組み、概ね当初計画通りに推移いたしました。

当社グループは、比較的保守的であった医療業界にイノベーターの視点から絶えず新しい提案を行ってまいりましたが、今後ともこの路線を強化して医療業界を取り巻く環境が激変する中、より強固な「成長基盤」づくりに努めてまいります。株主の皆さまには今後とも引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

グループ理念

S.H.I.P.

Sincere + Humanity + Innovation + PartnerSHIP
(誠実な心) (「情」の心) (革新者の気概) (パートナーシップ)

SHIPグループ



中期経営計画のもと、激変する事業環境を勝ち抜く

当社グループの事業ドメインである医療業界では、2年毎に行われる診療報酬の改定が実施され、国内景気の後退とあいまって、医療機関による機器・材料の価格下げ圧力が強まると同時に、更新予定機器等の買い控え傾向も見られております。しかしながら、医療業界は人々の“生命”に関係する業界であり、実需の実態は拡大化傾向にあります。こうした中、当社グループは前述の通り、当期を初年度とする中期経営計画を策定し、次なる成長に向けたグループの体質強化を図っております。

中期経営計画の基本方針に基づき、各施策を実行する中で、当第2四半期においては、特に「グループ企業の統合再編と連結経営の強化」と、「キャッシュ・フロー重視による財務基盤の強化」を推し進めました。医療業界全体が収斂される中、当社グループは業界No.1を目指し拡大策をとってまいりましたが、次の成長基盤を構築し、より確かなものにするため、グループ企業の統合と有利子負債の圧縮を積極的に行いました(詳細はP.03~04を参照)。

また、当社グループ事業の効率化を図るために、今春から“商品マスタ”の整理、統合を進め、グループ企業の情報共有基盤の整備に取り組んでおります。このように当社グループは前期末の業績結果を受け、より強固な「成長基盤」へと変革させていく取り組みを加速させております。

■ 中期経営計画 基本方針



■ 業績目標

(単位：百万円)

	2008/3 (実績)	2009/3 (目標)	2010/3 (目標)	2011/3 (目標)
売上高	105,871	120,000	135,000	140,000
営業利益	2,979	4,200	5,500	6,000
営業利益率(%)	2.8	3.5	4.1	4.3
経常利益	3,045	4,200	5,500	6,000
経常利益率(%)	2.9	3.5	4.1	4.3

すばやい経営判断と強固な実行力を持って、中期経営計画を具現化

1 各セグメント毎の成長戦略

トータルバックシステム事業

トータルバックシステム事業では、案件の長期化・大型化が進む中で、コンサルティング能力の拡充を図るために専任チーム体制を強化すると同時に、案件数が増加している首都圏へ2チームをシフトする等、実需に対しての対応を強化しています。また、新しい商品の開発・導入を推進するとともに、今後当事業の中心となる、地方中核大型病院へのアプローチを強化し、市場ニーズへの対応を進めております。

メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業では、医療機関の求めるコスト削減に対応するために、グループ内情報システムの整理・統合に着手するとともに、流通コスト、商品開発コストの削減に向け大阪SPDロジセンターの建設を進めております。

ヘルスケア事業

ヘルスケア事業では「ウエルハウス千里中央」の開設により、一連の開発計画が全て完了いたしました。今後は、統合後の当事業分野におけるグループ企業の効率的運営を進め、経営の効率化を追求してまいります。

調剤薬局事業

調剤薬局事業では、市場・業界環境が厳しい中で、地域密着の政策を進め、1店舗当たりの処方箋枚数を伸ばすと同時に、経営の効率化を追求してまいります。

2 グループ企業の統合再編と連結経営の強化

連結経営の強化と事業の効率化を進めるために、事業の関連性の高いグループ企業の統合再編を実施してまいります。当第2四半期においては、この方向性に基づき、医療機器販売を主たる業務とする5社の統合、介護部門事業会社5社の統合を実施いたしました。加えて、11月25日にプレスいたしました通り、医療機器販売会社2社の統合を予定しており、連結経営の強化をさらに進めてまいります。

■ 具体化の実施状況

2008年3月末	41社	
2008年9月末	44社	◆チェーンマネジメント社が持分法適用会社から連結子会社化 + ライトテック社(診療材料販売)、山田医療照明社(无影灯製造)
2008年10月1日	40社	誠光堂グループ 5社 ◆セイコーメディカル社に統合
2008年11月1日	36社	◆介護部門事業会社 5社 ◆グリーンライフ社に統合
2009年2月1日(予定)	34社	◆医療機器販売会社 2社 ◆当社に統合

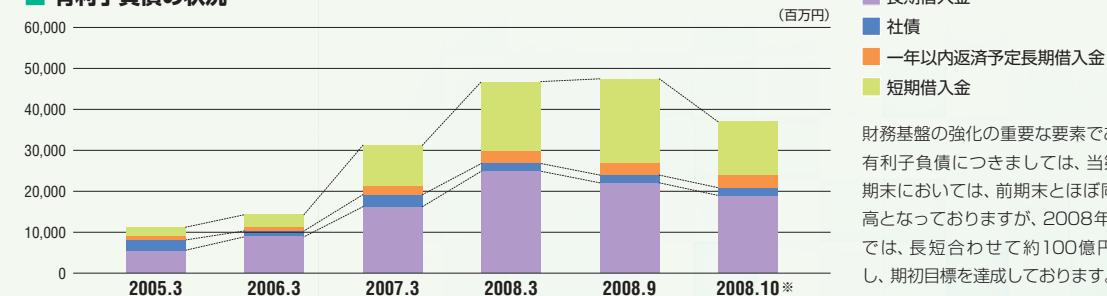
3 財務基盤の強化

当社グループでは、積極的な拡大路線を歩んできた中で、財務基盤の強化がひとつの課題としてあがっています。今後さらなる成長基盤を構築する上で、グループ各社の収益構造を見直していくとともに、有利子負債の圧縮、資産の流動化等を進めています。この具体策として、グループ企業である(株)西大阪地所の保有する医療福祉・商業複合施設「SHIP SENRI BLDG.」の土地建物を流動化いたしました。

■ 貸付金残高の状況



■ 有利子負債の状況



※当社独自で算出した概算数値であり、当社会計監査人のレビューを受けたものではありません。

介護付有料
老人ホーム

ウエルハウス千里中央 10月開設



当社グループは、「生命を守る人の環境づくり」を合言葉に、ヘルスケア事業として医療機関と連動した介護付有料法人ホームの開発・運営を行ってまいりました。

この度、この一連の開発計画の最終物件として、400床の病院と200人定員の介護付有料老人ホームの合築型である、医療福祉・商業複合施設「SHIP SENRI BLDG.」を開設いたしました。加えて調剤薬局、保育所、コンビニ、健康食レストラン、訪問看護ステーション、ケアプランセンター等を配置するとともに、オール電化の厨房設備等、環境・安全性に配慮した施設となっております。当施設は、戦後初期に開発された千里ニュータウンの中心地区に位置していることから、医療・介護と子育て支援を通じた、世代を超えてふれあい、支えあうことで住み続けられるまちづくりに貢献してまいります。

資産の流動化による財務基盤の強化

当社グループの介護付有料老人ホーム事業は、当初より一部関連不動産を流動化し、資産効率を上げることを前提としておりました。この前提に基づき9月18日にプレスいたしました通り、上記「SHIP SENRI BLDG.」の土地建物を、摂津千里特定目的会社へ売却し、10月31日に物件の引渡しを決済いたしました。



施設外観



施設内観



エントランス

第1回

「御岳山研修」を開催



当社グループでは関西圏のグループ企業を中心に、人材育成の一環として、医療に対する倫理観の醸成やモチベーション及び、専門的スキルの向上、目的共有によるチーム力の強化等を主眼にした社外研修を開催しております(金剛山研修)。

この度、この研修制度を首都圏においても「御岳山研修」として実施いたしました。当社グループでは、このような研修を通して、グループ企業各社の連帯感を深めると同時に、「S.H.I.P.」の理念に基づく“人づくり”を行ってまいります。

連結財務ハイライト / 事業別の概況

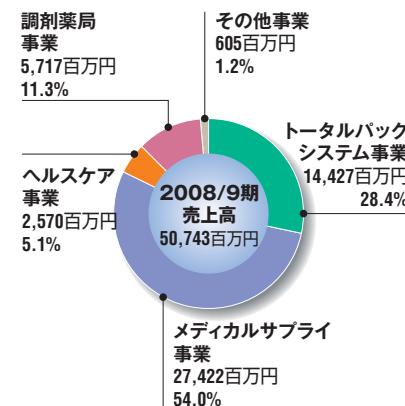
連結財務ハイライト

(単位:百万円)

	2006/9	2007/3	2007/9	2008/3	2008/9 (当第2四半期)
売上高	31,167	78,845	44,591	105,871	50,743
営業利益	1,307	3,297	382	2,979	821
経常利益	1,416	3,643	614	3,045	1,070
四半期(当期)純利益(△純損失)	613	2,468	△92	△3,767	378
総資産	65,020	90,213	94,572	107,317	103,713
純資産	18,355	25,726	25,051	21,202	21,544

事業別の概況

事業別売上高構成比



トータルバックシステム事業

トータルバックシステム事業におきましては、前期大幅な赤字を計上したアイネット・システムズ(株)の業績が通期経常黒字を計上できる見込みまで改善するとともに、(株)セントラルユニにおいて原価・販管費の低減策が奏功いたしました。また、当初下期売上計上予定のプロジェクト案件が上期に前倒し計上されたこと等から営業利益が増加いたしました。

以上の結果、売上高は14,427百万円(前年同期比5.7%減)、営業利益は591百万円(前年同期比507.4%増)となりました。

メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、(株)エフエスユニマネジメントの院内物流管理受託業務の受注件数が順調に増加するとともに、前期まで持分法適用会社であった(株)チェーンマネジメントの連結子会社化等により売上高は増加いたしました。一方で、薬価改定の影響による診療材料等の販売価格の低迷や、従来型ディーラーである誠光堂グループの業績が低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は27,422百万円(前年同期比25.6%増)、営業利益は286百万円(前年同期比50.9%減)となりました。

ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、すでに稼働中の施設において順調に入居者の受け入れが進捗し、平成20年9月末における6施設の入居者は811名となりました。一方で、平成20年3月に開所した第6号施設のカリエール茨木及び平成20年10月に開所した第7号施設のウエルハウス千里中央の立上げ費用等により営業利益は低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は2,570百万円(前年同期比26.9%増)、営業利益は16百万円(前年同期は営業損失39百万円)となりました。

調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、当第2四半期において新規出店は1店舗に留まったものの、平成19年8月に営業譲受により取得した4店舗の実績の寄与や、イング(株)のれんの償却が前期にて完了したこと、薬価差益の改善等の要因により増収増益となりました。

以上の結果、売上高は5,717百万円(前年同期比12.9%増)、営業利益は405百万円(前年同期比123.9%増)となりました。

その他事業

動物病院におきましては、高度画像診断件数が増加したことに伴い、付随する高額手術件数及び入院日数が比例して上昇いたしました。また、一般企業向け理化学機器販売会社にて、大型装置の売上が計上されました。

以上の結果、売上高は605百万円(前年同期比63.3%増)、営業利益は42百万円(前年同期比279.7%増)となりました。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期 2008年9月30日現在	前中間期 2007年9月30日現在	前期 2008年3月31日現在
【資産の部】			
流動資産	52,039	54,685	58,565
現金及び預金	11,239	7,363	7,647
受取手形及び売掛金	26,589	28,068	34,676
有価証券	0	307	300
商品及び製品	5,543	4,998	4,938
原材料及び貯蔵品	480	75	83
仕掛品	2,544	2,500	1,529
その他	5,764	11,572	9,637
貸倒引当金	△123	△201	△247
固定資産	51,673	39,886	48,752
有形固定資産	32,851	20,013	30,419
建物及び構築物(純額)	8,133	6,914	8,431
貸与資産(純額)	209	427	314
土地	6,689	5,678	5,678
賃貸不動産(純額)	16,873	3,516	11,805
その他(純額)	945	3,475	4,188
無形固定資産	7,117	9,900	6,608
のれん	6,479	9,294	6,157
その他	638	605	451
投資その他の資産	11,704	9,972	11,724
長期貸付金	7,519	4,465	7,571
その他	6,229	5,803	6,213
貸倒引当金	△2,044	△295	△2,060
① 資産合計	103,713	94,572	107,317

	当第2四半期 2008年9月30日現在	前中間期 2007年9月30日現在	前期 2008年3月31日現在
【負債の部】			
流動負債	55,965	46,642	57,496
支払手形及び買掛金	24,259	25,018	29,917
短期借入金	20,445	11,982	16,835
未払法人税等	550	884	1,666
賞与引当金	753	680	638
工事損失引当金	5	9	5
その他	9,952	8,067	8,432
固定負債	26,203	22,878	28,618
社債	1,893	2,591	2,080
長期借入金	22,099	18,426	24,926
退職給付引当金	1,032	1,054	1,005
役員退職慰労引当金	54	49	52
その他	1,123	756	553
② 負債合計	82,168	69,520	86,114
【純資産の部】			
株主資本	15,750	19,047	15,372
資本金	5,667	5,667	5,667
資本剰余金	6,593	6,593	6,593
利益剰余金	3,491	6,787	3,112
自己株式	△0	△0	△0
評価・換算差額等	37	392	64
その他有価証券評価差額金	63	392	71
為替換算調整勘定	△25	△0	△7
新株予約権	2	2	2
少数株主持分	5,754	5,609	5,764
③ 純資産合計	21,544	25,051	21,202
負債純資産合計	103,713	94,572	107,317

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 2008年4月1日～ 2008年9月30日	前中間期 2007年4月1日～ 2007年9月30日	前期 2007年4月1日～ 2008年3月31日
④ 売上高	50,743	44,591	105,871
売上原価	44,084	38,883	91,943
売上総利益	6,659	5,707	13,928
販売費及び一般管理費	5,837	5,324	10,948
⑤ 営業利益	821	382	2,979
営業外収益	720	549	1,149
営業外費用	471	318	1,083
経常利益	1,070	614	3,045
特別利益	2	131	330
特別損失	84	3	4,536
税金等調整前四半期 純利益(△は純損失)	987	742	△1,160
法人税、住民税及び事業税	556	888	2,374
法人税等調整額	11	△95	3
少数株主利益	40	42	229
四半期純利益(△は純損失)	378	△92	△3,767

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 2008年4月1日～ 2008年9月30日	前中間期 2007年4月1日～ 2007年9月30日	前期 2007年4月1日～ 2008年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	3,044	△1,201	△193
投資活動による キャッシュ・フロー	564	△10,881	△21,878
財務活動による キャッシュ・フロー	△666	6,677	17,971
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△6	0	△12
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	2,935	△5,405	△4,113
現金及び現金同等物の 期首残高	7,105	11,218	11,218
連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額(△は減少)	211	—	—
現金及び現金同等物の 四半期末残高	10,251	5,813	7,105

財務状況

- ① 資産合計／資産は、賃貸不動産が5,067百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が8,086百万円減少したこと等により、前期末に比べて3,604百万円減少し、103,713百万円となりました。
- ② 負債合計／負債は、短期借入金が3,609百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が5,658百万円、長期借入金が2,827百万円減少したこと等により、前期末に比べて3,946百万円減少し、82,168百万円となりました。
- ③ 純資産合計／純資産は、為替換算調整勘定が18百万円、少数株主持分が9百万円減少した一方、利益剰余金が当第2四半期純利益により378百万円増加したこと等により、前期末に比べて342百万円増加し、21,544百万円となりました。

業績・成果

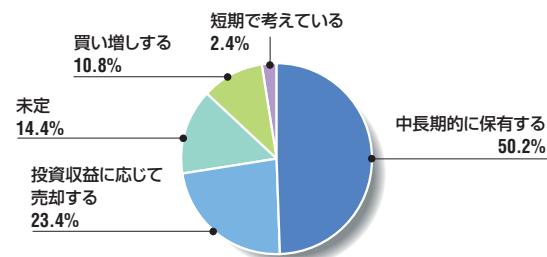
- ④ 売上高／当第2四半期連結累計期間における売上高は、トータルパッケージシステム事業が前年同期比5.7%減収であったものの、その他の事業がいずれも2ケタ増収となり、前年同期比13.8%増の50,743百万円となりました。
- ⑤ 営業利益／当年度よりスタートした新中期経営計画に基づき、収益構造の立て直しを図った結果、収益基盤の改革が進むとともに、トータルパッケージシステム事業において、下期案件が前倒し計上されたこと等により、営業利益は前年同期比114.6%増の821百万円となりました。

アンケートへのご協力
ありがとうございました。

第16期株主通信において株主の皆さまへのアンケートを実施させていただいた結果、331名の方々よりご回答を頂戴いたしました(2008年9月30日現在)。ご協力、心より感謝申し上げます。集計結果や株主の皆さまのお声の一部を、ここに紹介いたします。

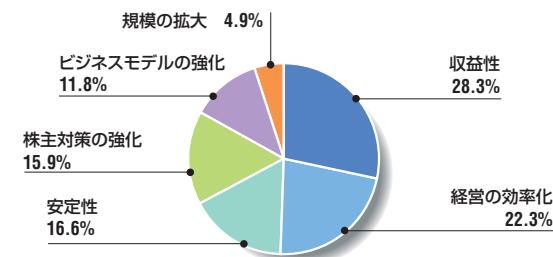
当社株式の今後の保有方針(1点選択)

当社株式の今後の保有方針を伺った結果、前回より0.1ポイントダウンしましたが、前回に引き続き「中長期的に保有する」(50.2%)が第1位で過半数を占めるに至りました。しかしながらこの結果に決して慢心することなく、皆さまからの一層のご支援を賜るべく、各経営戦略を着実に推進し、全グループ企業一丸となって企業価値の向上に努めてまいります。



当社経営で重視すべき内容(上位3点選択)

当社経営について何を重視すべきか伺ったところ、前回の上位2点が入れ替わり「収益性」(28.3%)及び「経営の効率化」(22.3%)で過半数を占める結果となりました。このようなご意見や期待にも応えられるよう、収益性を重視した財務基盤の強化、各グループ企業の統合再編・連結経営の強化に努めていく方針です。



その他主なご意見等

<経営に対するご意見の一部>

- 株価が大幅に下落している。しかも今期大幅欠損。株価対策を真剣に対応すべき。
- 医療、介護サービス(ソフト面)の事業方向性が不明確です。需要が何処にあるか考えてください。
- 中期経営計画の達成に向け全社一丸となって努力してください。
- 株主メッセージ通り基盤整備と経営効率化を進め、安定且つ継続的に配当できるように努力を願う。
- 利益率向上、経営のスリム化。SGA(販管費)削減。

<その他様々なご意見の一部>

- 株価を上げるよう、IR等充実を図ってください。
- 文章、数字が多すぎる。一般投資家にわかりやすい株主通信を望む。
- 提案型営業の推進のため、営業人材の育成に努められたい。
- 株主への施設見学会を希望します。

今回のアンケートにおきましても、株主の皆さまより多くのご意見・ご要望等を頂戴いたしました。その中で特徴的だったのは、配当が無配となったことから今後の配当についてのお言葉を数多く頂いたことでした。次いで、株価、特別損失についてのご意見等を頂きました。

今後の収益改善に向けた改革、株主還元への取り組みは勿論のこと、当社へのご理解を一層深めて頂けますようIR活動にも積極的に努め、株主の皆さまから愛されるSHIPグループの形成を目指してまいります。アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

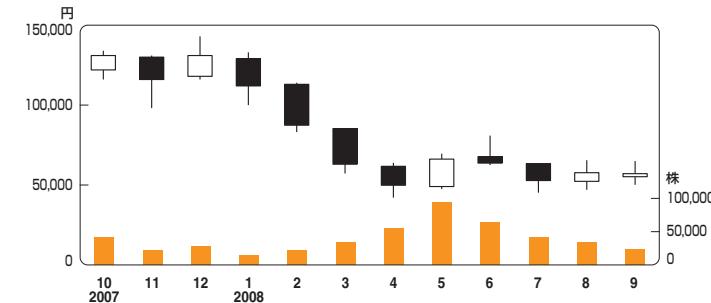
● 会社概要

商号 グリーンホスピタルサプライ株式会社
 設立 1992年8月
 代表取締役社長 古川 國久
 資本金 56億6,708万円
 決算月 3月
 従業員数 連結1,773名/単体167名
 本社所在地 〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
 TEL: 06-6369-0092(代)
 FAX: 06-6369-3191
 支社 関西、東京

● 大株主

株主名	[所有株式数]	[所有割合]
古川 國久	34,285株	10.26%
(有)コッコー	33,819株	10.12%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	18,806株	5.63%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	17,634株	5.28%
古川 幸一郎	15,850株	4.75%
資産管理サービス信託銀行(株)(信託口)	14,486株	4.34%
中央三井アセット信託銀行(株)(信託口)	13,179株	3.95%
従業員持株会	9,526株	2.85%
ジェーピーモールガンチェースバンク385058	9,325株	2.79%
石川 幸司	8,932株	2.67%

● 株価・出来高の推移



● 役員

代表取締役社長 古川 國久
 代表取締役副社長 伊藤 忍
 専務取締役 小川 宏隆
 専務取締役 播戸 健
 専務取締役 小林 宏行
 常務取締役 沖本 浩一
 取締役 横山 裕司
 取締役 瀧川 博三
 社外取締役 和田 義昭
 取締役 村田 善政
 取締役 大山 文明
 常勤監査役 竹原 靖昌
 社外監査役 水野 昌也
 社外監査役 細川 信義

● 株式の状況

発行可能株式総数 540,000株
 発行済株式総数 334,030株
 株主数 5,643名

● 株式分布状況

● 株主数別分布状況

自己名義株式	1名 / 0.02%
金融商品取引業者	25名 / 0.44%
金融機関	32名 / 0.57%
その他法人	47名 / 0.83%
外国人等	71名 / 1.26%
個人・その他	5,469名 / 96.88%

● 株式数別分布状況

自己名義株式	21.50株 / 0.01%
金融商品取引業者	2,158.00株 / 0.75%
金融機関	79,944.00株 / 23.93%
その他法人	36,279.00株 / 10.86%
外国人等	49,215.00株 / 14.73%
個人・その他	166,052.50株 / 49.72%

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月中	
基準日	(定時株主総会) (期末配当金)	毎年3月31日 毎年3月31日
単元株式数	1株	
株主名簿管理人	住友信託銀行株式会社 大阪市中央区北浜4丁目5番33号	
同事務取扱場所	住友信託銀行株式会社 証券代行部 大阪市中央区北浜4丁目5番33号	
(郵便物送付先)	住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10	
(電話照会先)	[住所変更等用紙のご請求]	☎ 0120-175-417 [その他のご照会] ☎ 0120-176-417
同取次所	住友信託銀行株式会社 全国各支店	
端株買取請求取扱場所	上記株主名簿管理人がお取扱いいたします。	
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL (http://www.ghs-inc.co.jp)	

株券電子化のお知らせ

株式の管理や取引をより効率的かつ安全なものにするため、株券の電子化が2009年1月実施に向けて準備が進められています。

株券を証券会社を通じて証券保管振替機構にお預けの場合

→ 特段のお手続きは必要ありません。

株主の権利は自動的に確保されます。
また、これまでと同様に自由な売買が可能です。

株券をお手元(自宅、貸金庫等)にお持ちの場合

→ 株券の名義をご確認ください。

ご本人名義

株主の権利に影響はありません。

ただし、株券の電子化実施後は、当社が開設する特別口座で管理され、そのままでは売買できません。証券会社のご本人口座に移す必要があります。

ご本人以外

株主としての権利(株式価値・配当金の受取り等)を失う恐れがありますので、名義書換をしてください。

名義書換については、お取引のある証券会社または当社株主名簿管理人住友信託銀行証券代行部にお問い合わせください。
株券電子化の実施前に、株券を証券会社を通じて証券保管振替機構にお預けいただくと、売却を含めよりスムーズに新制度に移行できます。
お早めに証券会社にお預けになることをご検討願います。

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで…

グリーンホスピタルサプライ株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
TEL: 06-6369-0130 (IR窓口) FAX: 06-6369-3191

URL (ホームページアドレス)

<http://www.ghs-inc.co.jp>



GREEN HOSPITAL SUPPLY